

IMのネットワークを活用した二人三脚の販路開拓

# 株式会社 天然素材探索研究所

株式会社天然素材探索研究所は、バイオ・医療系の受託研究、実験小動物用床敷材「バルマス」の販売をしている企業である。受託研究、バルマスの販売ともに伸び悩んだ時期があり、バルマスの直接販売から受託研究の拡大を目指す戦略に方向展開を図った。IMのネットワークを活用した二人三脚の営業の結果、バルマスの売上増を達成し、受託研究の認知度も向上した。今後は中小機構の支援ツールも活用しながら、さらなる販路拡大をサポートしていく。

## 1. 企業概要

- 入居日名: クリエイション・コアかずさ
- 企業名: 株式会社 天然素材探索研究所
- 業種: バイオ・医療系の研究受託サービス業、実験動物用資材の販売業
- 所在地: [本社] 〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-27-13 オカダマンション2-D  
[研究室] 〒292-0818 千葉県木更津市かずさ鎌足2-1-4 クリエイション・コアかずさ1・2号室
- 代表: 青山 美子
- 資本金: 1,000万円
- 設立: 1999年10月
- 売上高: 7,800万円(直近決算期)
- 従業員: 6名
- 事業内容: ①医薬品、機能性食品等の有効性・安全性試験の受託サービス



シートタイプ



細切りタイプ

実験小動物用床敷材「バルマス」

新規開発には開発対象素材の有効性を迅速かつ的確に証明することが重要である。同社はこれまでの実績に基づく技術・知識をもとに、顧客の要望にフレキシブルに対応し、無駄の無い試験計画を提案している。さらに、既存素材に新たな価値を付加すべく、新機能検索のプランも提案している。

②実験小動物用床敷材「バルマス」の販売  
「バルマス」は研究員出身の青山社長の経験を生かし、2006年に開発・販売開始された商品である。化学物質を含まないバージンバルブから製造され、粉塵・アンモニア臭を軽減し、類似商品よりも飼育環境を長期間維持できるという特徴がある。飼育管理作業・廃棄物量の軽減によってトータルコストの削減に寄るだけでなく、環境にも配慮した商品である。  
(試用サンプルもご用意しておりますのでご希望の方はお問い合わせ下さい)

■ U R L : <http://www.scitex-mrc.co.jp/>

## 2. なぜ、入居したのか?

首都圏近辺で実験室を探していた同社は、バイオ系企業の誘致を進めていたかずさアカデミアパーク内にBIが設置されることを知った。都心では実施困難な動物実験等が可能なこと、既にバイオ系企業が立地していたために産業廃棄物業者への委託など既存の仕組みを活用できること、東京湾アクアラインを使えば都心から60分の近さにあること等から、入居を決めた。

## 3. どのような課題を抱えていたのか?

入居以降、受託研究は安定的な取引先を確保し、バルマスの納入実績も徐々に増えていた。しかしながら、本格的に支援を始めた2008年の時点では、不況の影響もあり、両事業とも売上が伸び悩んでいた。

バルマスの販売は、商品特性の訴求方法にも課題があった。販売は代理店に依頼していたが、商品説明やアドバイスには専門知識が必要であり、代理店による営業では対応が難しく、バルマスの認知度は低いままだった。

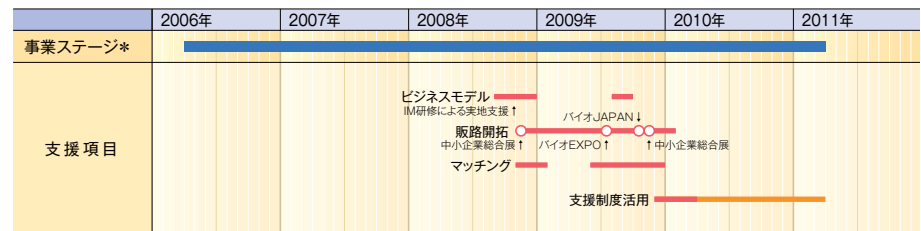
## 4. どのような支援を行ってきたのか? その成果は?

支援にあたり、バルマスの直接販売から、受託研究の受注拡大につなげていく成長戦略を策定した。

当初、営業展開は手探り状態であったが、動物実験施設での利用が想定できたため、まずは販売ターゲットを医薬系学部がある大学や製薬・食品企業に絞り込んだ。その上で動物実験を行う大学・企業の研究者が多く来場するバイオ系の展示会・学会に出展し、同社が自らサンプルを配布しながら商品説明をすることでバルマスの有用性をアピールした。

出展した際は中小機構のIMをはじめ、研修で知り合った各地のIMなど、全国各地のIMIに社長を紹介し、商品説明を行った。IMには、BIで動物実験を行っている入居企業や、大学等の研究機関・BI周辺企業を紹介して貰い、つなぎ役になって貰った。社長が各地を回り、つないで貰った先を訪問しながら、バルマスの有用性を訴えた。担当IMも、多くの訪問先と同行した。

こうした直接営業の結果、サンプル導入や継続的な受注など、具体的な取引につながった。バルマスは前年比3割の売上増となり、受託研究の認知度もアップした。中小機構BIのネットワークを地域支援拠点として有効活用し、全国のIMとの交流により得た人脈をフル活用することで得られた成果である。相手のIMとも、地域間連携の実績づくりに寄与することでWin-Winの関係を築くことができた。



\* ■ 研究開発段階 ■ 初期販売段階(試作品、サンプル出荷) ■ 事業化(断続的売上) ■ 事業化(安定的売上) / ■ これまでの履歴 ■ これからの計画

## 5. 今後、どのような支援を行っていくのか?

これまで同様、全国のIMとのネットワークを活用していく。さらに同社が関西方面の販路強化を図るために申請中の「販路開拓コーディネーター事業」など、中小機構の各種支援メニューも活用し、関係各支部とも連携しながら、広範囲に支援していく。

## 6. 代表の声



株式会社天然素材探索研究所 青山 社長

このたび、担当IMならびに中小機構BIのネットワークを活用させて頂くことにより、これまでの課題であった受託業務並びにバルマスの認知度を大きくアップさせることができました。さらに各地の訪問先のIMのご支援等もあり、以前は単独では訪問できなかった企業を含め20件以上の営業が実現し、その結果検討中も含め4件の顧客獲得につながるなど弊社の事業展開に大きな力となりました。

### BI紹介 クリエイション・コアかずさ、かずさバイオインキュベータ

かずさアカデミアパーク(千葉県木更津市)内にあるBIで、主にバイオ系企業が入居している。隣接する千葉県のBIもあわせ、3つのBIの入居企業をIM1名、スタッフ2名で支援している。

同パーク内には、バイオ系研究機関や製薬会社、ものづくり企業が集積している。機構BIの入居企業からも、2社が卒業後にパーク内に立地し、事業の拡大を図っている。

IMIは、パーク立地企業で構成される「街づくり協議会」や、地域企業との交流を目指す「経済対策協議会」の事務局も兼ねている。事務局の活動を通して、卒業企業や近隣企業も日常的に支援している。地域の各機関との連携や県外企業等とのマッチングも積極的に行うなど幅広い企業支援を展開している。



クリエイション・コアかずさ